

2018年4月度第2回役員会議事録

日時：2018年4月27日(金)18:00～19:30

場所：サンピアセリーズ

参加者：原田会長、横田副会長、南、横山、兵頭、濱渦、岡林

議題Ⅰ：「廣井勇を顕彰する会」について

高知県が輩出した土木偉人「廣井勇」を称える顕彰会「廣井勇を顕彰する会」が岡村甫先生を発起人として立ち上がりました。会では趣旨を理解して頂いたうえで協賛金を募集している。協議の結果当会も協賛することとした。協賛金は1口¥10,000である。

議題Ⅱ：通常総会について

2018年度通常総会は6月30日に開催する議題について協議した。

1. 準会員の 신설について

- ・横田副会長より会員を増やす取り組みを考えている。診断士を目指す人を対象とした準会員を新設する提案があった。
- ・準会員のシステムは山口県と福岡県が取り入れている。(原田会長)
- ・準会員の権限は賛助会員と同じとする。
- ・会費は本会員と同じく入会金¥2,000と年会費¥3,000とする。正会員になった際の手続きは、合格番号記した通常の申込書のみをメールで送信してもらう。
- ・メリットは当会主催の各種行事への参加、総会への出席などがある。但し総会の議決権はない。
- ・準会員の 신설にあたり会員規則改定が必要である。原田会長が改訂作業を行いメール会議にて役員による認証を行う。
- ・準会員用の申込書を作成する。
- ・本件に関しては総会に諮り決議をもって募集することになった。

2. ホームページおよびリーフレットに記載の会員の所属先について

現在は勤務先・所属先を明記しているが、今後は勤務先のみとすることになった。

3. 新入会員 2名の方が入会いたしました。

井上泰史(高知県土地改良事業団体連合会)、松本総史(㈱四電技術コンサルタント)

4. 退会 2名の方が転勤により退会しました。

山地孝樹(㈱四電技術コンサルタント) 山上宏和(㈱ティーネットジャパン)

5. JCD活動報告(原田会長)

6. 勉強会

- ・生産性向上について 橋本親典教授
- ・ローモンタイトの対策 兵頭学氏
- ・低圧注入剤について ㈱ニチバン

7. 懇親会 飲み放題(2時間) ¥6000

キャンセルは3日前までにお問い合わせする。間に合わない場合は負担をお願いする。

総会の1週間前に再度確認のために案内をかける。

8. 総会の案内

式次第が完成次第メールにより行う。その際、平成30年度の会費¥3000、賛助会員¥10000の納入案内と勤務先の変更の届出および委任状を付けたものを送信する。担当は岡林氏

議題Ⅲ：「2018年度コンクリート診断士受験対策講座」について

下記の通りホームページ上に募集案内を載せております。また、技士会の協力により技士会のホームページにも掲載されています。CPDSは1日目および2日目それぞれに

7 unit の合計 14unit が認められました。連休明けに各方面に再度広報活動を行う。会員向けの案内も同時にメールにより行うこととする。

現在、原田会長が四択の問題を 80 問選定しています。セレクトしたものを PDF 化してテキストにすることになった。

開催日：第 1 日目：2018 年 6 月 2 日（土）

第 2 日目：2018 年 6 月 23 日（土）

締切：5 月 18 日（金）

時間：9：00～16：30 受付は 8：30

場所：ポリテクセンター高知

参加費：¥10000

プログラム

1 日目	午前 2 コマ	択一式問題対策	島先生
	午後 2 コマ	論文 B 化学的腐食 A S R	氏家先生
2 日目	午前 2 コマ	論文 A 論文 B 塩害	近藤先生
	午後 2 コマ	論文 B 中性化 模擬試験	橋本先生

※1 コマ 90 分

議題 4：「設立 10 周年記念講演」について

2018 年 9 月 29 日（金）に設立 10 周年記念研修会が高知工科大講堂で開催されます。講習会タイトルは、「高知県コンクリート診断士会設立 10 周年記念講習会 コンクリートサミット in 高知～コンクリート構造物の将来を考える～」です。

魚本先生からの参加の了解を頂くことができました。

講師陣は、岡村甫（東大名誉教授）、魚本健人（東京大学名誉教授）、細田暁（横浜国立大教授）、松田芳範氏（J R 東日本株）、四国地整および高知県土木部の方々です。

議題 5：見学会について

2018 年度の見学会は、8 月の盆休み明けの金土曜日に愛媛県の土木遺産である芸予要塞、小島砲台跡（今治市）、大宮橋（西条市）、来島海峡大橋等を訪ねる予定である。工程は 1 泊 2 日とし、バスをチャーターして実施予定である。昨年度の山口県視察の際にお世話になった技士会への参加要請も計画しています。来島大橋等の見学については J H に連絡を取り現地の説明等をして頂ければ幸いです。その際は書類が必要とのことである。見学の手配は旅行会社に相談して計画を行う。

議題 6：高知県土木へのコンクリート診断士会の働きかけ

現在、高知県コンクリート診断士会の活動は、コンクリート技術研修会の開催、受験対策講座が主な行事である。会員各位はそれぞれ所属先の組織を通じて県や市町村の診断や調査を行っていることが現状である。高知県コンクリート診断士会は今年で設立 10 周年を迎えるにあたり、高知県内のインフラ構造物の維持管理をコンクリート診断士会として積極的に関わっていかねばと考えている。例えば島根県コンクリート診断士会では、アドバイザー派遣制により県のインフラの健全度判定に積極的に関わっている。

現在高知県議会副議長である坂本孝幸議員の働きかけで岡林氏が、4/24（火）に土木部技術管理課を訪問してきました。窪田課長、黒岩課長補佐および松井技査が対応下さりました。その中でコンクリート診断士会のことは存じ上げており、会員の活動も認知していますが、残念ながら診断士会としての活動は目に見える形では伝わっていない。県側としても何か協力できるものがあれば今後検討したい旨の報告があり、後日役員会で検討すると伝えてきました。4/25（水）に原田会長と協議し翌 26 日（木）に技術公社の平田理事長に原嘉会長と岡林で尋ね相談し。まずは県の困りごと等を調べ診断士会が対応できそうなことを提案する。そのためには県に対する広報活動を今まで以上に積極的に行う必要がある。また、文章による相談も必要。技術的なことは道路課、広義的な活動提案は技術監理課に相談してみてもとのアドバイスを受けてきました。

以上のことを踏まえ役員会に諮り、設立 10 周年を契機に従来以上にインフラの長寿命化に向けた取り組みが出来るよう県への働き掛けを行うこととした。

※坂本県会議員と岡林氏は昨年の南国市教育委員会の事業で知り合い、診断士会の活動報告を契機に交流が続いています。

以上
2018年5月6日
文責：岡林